

## 令和2年度老人保健健康増進等事業

## 介護関連情報の利活用に係る評価・分析の方向性の整理等についての調査研究

株式会社三菱総合研究所

## 1. 事業実施目的

本事業は、介護分野の情報について、全国規模、大規模かつ複数の事業所をまたいだ既存の介護現場からの収集データを用いた解析を踏まえ、CHASE等との連携を含め、介護サービスの効果等を、どのような観点や手法で、どのような指標を用いて評価するのか等の課題について整理を行うことを目的とした。

## 2. 事業の概要

## (1) 既存データにおけるCHASEとの連携可能性の評価

既存データとして記録されているアセスメント及びケアの記録等について、CHASEの収集項目との整合を整理し、既存データの活用によるCHASEへのデータ提供の可能性について評価を行った。CHASE収集項目のうち、SOMPOケア株式会社（以下「SOMPOケア」という）において現状記録されていないADLの評価スケールであるBarthel Indexについて、SOMPOケアの介護サービス事業所における利用者の評価を行い、Barthel Indexの評価とヘルスケアスコアの関係性を比較することで、CHASEによる科学的な介護とヘルスケアスコアを用いたSOMPOケアの取組の整合を試行的に検証した。

(2) 高齢者に提供されたサービスの内容等とヘルスケアスコアの関係性の試行的評価  
本調査では、SOMPOケアの介護サービス利用者1万人超のデータを用いて、提供された介護サービスの内容の記録情報（CHASE収集項目と一致する記録情報を含む）とヘルスケアスコアの時系列変化について分析を行い、提供された介護サービスの差が高齢者の心身の状況の変化に与える影響について試行的な評価を行った。

## (3) 既存データを活用したアウトカム評価に基づくケアの試行的実証

高齢者に提供されたサービスの内容等とヘルスケアスコアの関係性の試行的評価の結果から得られた仮説を基に、ヘルスケアスコアの改善が見込める利用者について抽出を行い、SOMPOケアにおける当該利用者の介護記録を確認することで、その関係性及び現場改善の有効性について検討を実施した。

## 3. 事業結果の概要

本調査研究にて、CHASE収集項目とSOMPOケアが取得しているデータ項目との対応率を把握し、また当該データに基づく、Barthel Indexとの関係性比較を実施した。加えて、提供サービス及びヘルスケアスコアの関係性、アウトカム評価及びケアの内容との比較を通じた試行的評価及び実証では、利用者に応じたアセスメント結果や目標・意向、リスク等を踏まえた過剰なケア提供の削減と活動機能・認知機能・栄養機能の維持・向上の関連及び科学的介護の有意性、並びに利用者別でのデータ・事例分析の組み合わせによる有用性について把握することができた。

以上